

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : IQ TOUR BLUE

COLOR : BLUE

COVER STOCK : R2X™ SOLID REACTIVE

RG : 2.49(MED/15P) ΔRG : 0.029 (LOW/15P)

FACTORYFINISH : 1500GritPOLISH

TRACKFLAREPOTENTIAL : 4-6(MID)

BACK END : 16 LENGTH : 15 (1-20)

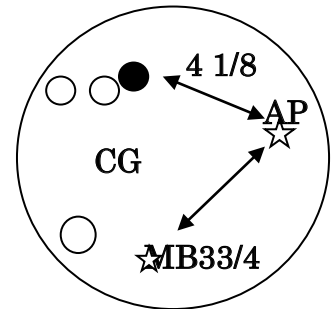
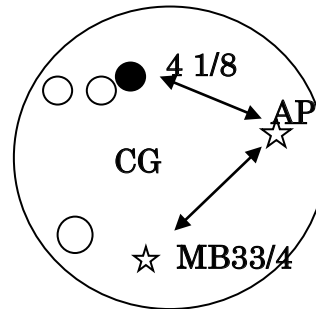


2021 年 12 月 7 日

レイアウト例

IQ TOUR BLUE

IQ NANO PURPLE



適正レーンコンディショニンググラフ

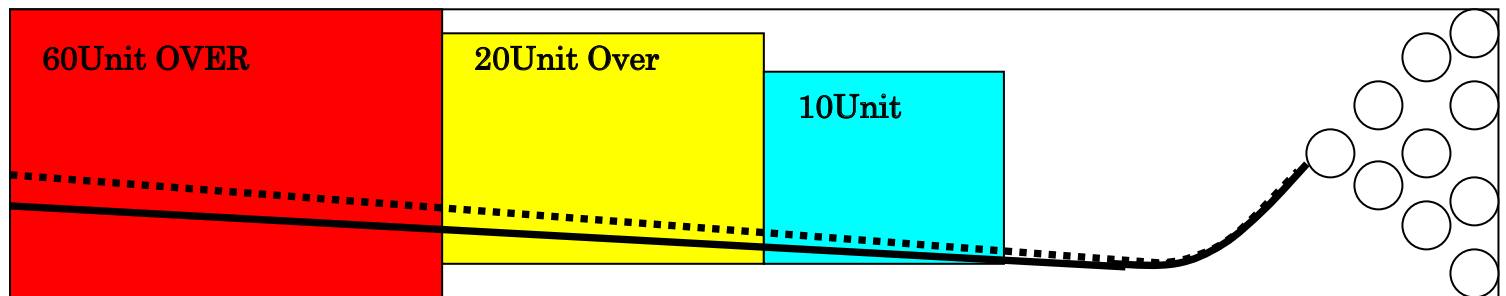
【MEDIUM OIL 編】

CA55 度/PSA2

フレーザー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

CA55 度/PSA2

最大 6 7/8 ・ 間隔 1/4



0F

15F

35F

45F

比較品ライン

IQ TOUR BLUE

IQ NANO PURPLE

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーチ	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○					比較品	△

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)



【ボール総合評価】

IQ シリーズの持ち味でもあるストレスのない直進性能は少ないオイルにも対応できるのでセンターコンディショニングの夜のリーグ戦や大会後半に力を発揮する感じです。ボウラータイプにもよりますが、曲がりはややシャープな感じですがラインナップの中盤に入る印象です。

【ここがポイント】



今回の IQ BLUE は適度なオイルへの摩擦係数で全体的に直線的な攻め方が出来る以前のルビーに似ていて、軸移動も非常に細くなり転がり感も適度にあるので投げ易さも継承している感じです。今まで表面光沢のある IQ は完売するほど人気がロングランで続いているのも頷けます。とにかく色々なレーンコンディショニングに合う印象で、ボウラータイプも選ばないのが IQ の良い所で、内蔵されている C3 セントリピタルコアはナチュラルなベースのコアですので表面素材が強い場合と弱い場合でハッキリ使用目的の分かるボールに仕上がっています。ピンアクションもクラス最上級と言えるのが愛用されている証です。

発売予定 : 2022 年 3 月中旬 希望小売価格 ¥53,900 円

石原 章夫プロ【(株)ハイ・スポーツ専属プロボウラー】 テスト協力センター : 川崎グランドボウル